

事務事業名		社会福祉協議会活動推進支援事業			会計	一般会計					
課等名		福祉課			事業種別	政策		開始		終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり							
		施策	33	共に支えあう地域福祉の推進							
目的	対象(誰・何を)	飯田市社会福祉協議会 補助金支出先: 飯田市社会福祉協議会			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	効果的に運営することができる				地域福祉関係の社協への委託(補助)事務事業の数(経常的なものを除く)			8		
	向上させたい上位施策の成果指標	近隣で支えあいができていない市民の割合(%)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	目標に対し80%以上の実績を達成した事業数/地域福祉関係の社協への委託事務事業の数 %			100	100	100	100			
	定性目標										
事業概要	<p>飯田市社会福祉協議会(社協)は、民間事業者では担えない公共的な福祉サービスの提供を行っており、団体としての必要性や公益性は高い。また、地域福祉の推進役として行政と地域の橋渡し役を担い、地域における多様な福祉ニーズに応えるため、社協が地域のボランティアと協力しながら地域の特性を踏まえ地域福祉活動を実施している。現場において住民と共に問題解決に向け活動する地域福祉活動コーディネーター設置事業も統合している。</p> <p>しかし、社協の自主財源のみでは法人運営が出来ないことから補助金を支出する。住民主体の助け合い活動の一層の推進を図る。昭和50年から生活困窮対策として開始した生活つなぎ資金事業について、平成24年度中に財源不足により制度継続が難しくなるため、補助により制度を継続する。</p>										
事業内容					名称			活動指標			
24年度事業内容	1 飯田市社会福祉協議会の法人運営に係る事業費の補助				2			2			
	2 飯田市社会福祉協議会の法人運営に係る事業費の補助による職員数				(1) 補助分正規職員数(市派遣含む)			(1) 14人			
	(1) 正規職員				(2) 補助分臨時職員等人数			(2) 6人			
	(2) 臨時非常勤職員				3 地域福祉活動推進事業数			3			
3 地域福祉活動コーディネーターによる地域福祉活動の推進				(1) 地域福祉活動推進事業数			(1) 88カ所				
(1) 高齢者の外出の機会を確保し孤立を未然に防ぐふれあいサロンの継続と新規設置				(1) サロン設置数			(2) 7地区				
(2) ゴミ出し、買い物、雪かき等の地域課題の解決に向けた活動の立ち上げを支援				(2) 見守り活動・ゴミ出し支援の取組地区数(補助)			4 4,632,800円				
4 生活つなぎ資金への補助				4 生活つなぎ資金補助額							
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足					
事業費計(千円)①		72,209	84,297	84,297	79,664	(そ) 寄付金					
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他			500	500							
一般財源		72,209	83,797	83,797	79,664						
人件費計(千円)②		36		36							
正規職員所要時間		10		10							
臨時職員所要時間											
総事業費①+②		72,245	84,297	84,333	79,664						
事業内容・目標達成状況の振り返り	福祉のまちづくりパートナーシップ協定に基づき、社会福祉協議会が地域福祉活動の推進役として活動できるように支援することができた。生活つなぎ資金制度を継続することができた。										
改革改善の考え方	①問題点	地域福祉の推進役である社会福祉協議会の安定した運営を支援する必要がある									
	②改革提案	補助金額を算出する基準を作成し、基準に基づき補助金を支出する									